

しず すす
清水の清水

新庄市大字角沢

～平成29年度選定～



里の名水・やまがた百選

新庄市内（角沢清水地区）の民家の入口にあるこの湧水は、石積みの中から苔むした水受けに、勢いよく湧出している（湧水地点は、そばに祀られている水神様のあたり）。この地区一体は、古くから背後の里山の伏流水に恵まれ、人々はその恩恵にあずかってきた。



〔管理者〕 柿崎広昭 〔保全団体〕 柿崎広昭ほか



歴史や利活用

湧水の言い伝えでは、貧しい身なりの僧に水を飲ませたところ、この僧（弘法大師）が大変感謝し、錫杖で地面を突いたところ、水が湧きだしたと云うもの。「弘法水」とも呼ばれている。

付近には、東北一の「イタヤカエデ」の巨木も見られる。

アクセス （北緯 38.718583°、東経 140.271555°）

県道318号線から県道36号線に入り南進する。新田川を渡り、県道36号線を南西に進むと清水地区の住宅が見え始める。清水バス停から右折して、地区内を数百m進むと右側に水田が開けて見える場所があり、その左後方、道沿いにある。車は、その先の広場に駐車可。



近くの見どころ

- <やまがた百名山 > ◆ 八向山、亀割山
- <日本一の滝王国山形 > ◆ 一の滝、三の滝（新庄市金沢）
- <やまがた景観物語 > ◆ 人と農の融合 エコロジーガーデン「原蚕の杜」の自然と昭和初期建造物群

清らかで水量豊かな湧水が県内各地に点在し、大地や人、草木に潤いを与えています。県では地域の人々に育まれてきた優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域の活性化や観光誘客につなげていきます。

また、本県は「自然が豊富で水がいい」強みを活かし、質の高い県産品をお届けすることができます。

